

令和元年度 学校関係者評価実施報告書

学校名	県立沼津東高等学校
-----	-----------

取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア ◎「自治・利他・不屈」の精神を持つ生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動の満足度／90%以上※ ・ルールを守っている／90%以上※ ・部活動の満足度／90%以上※ ・交通事故件数／前年比3割減 ・欠席遅刻者数／1日3人以内 ・いじめ防止等への組織的対応 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに対する調査は、やはり無記名でないと明らかにならないと思います。無記名であることで調査が難しくはなりますが、実態を把握する上では必要ではないかと思えます。 ・欠席者への対応は、早い段階からのきめ細やかな個別対応が必要だと思えますが、同級生からの呼びかけもあると変わるのではないのでしょうか。 ・達成状況は概ね目標に達している。 ・全体の高い意識は評価できるものの、不登校、一般常識、幼稚さ等のマイナス面の増加は心配である。
イ ◎「高い志」を持ち、その実現を目指す生徒の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の満足度／90%以上※ ・各種行事の満足度／95%以上※ ・学校行事評価の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問などは、オープンキャンパスなどの時に個別にも行われていると思いますが、感想などを意見交換できる機会はあるでしょうか。 ・職業紹介なども資格業だけでなく、一般企業に勤めている方々の話なども聞く機会があると良いと思えます。 ・キャリアアッププログラム等、セミナー・講演会が実施できている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・5教科6・7科目型センター試験受験者／90%以上 ・国公立大学現役合格者／160人以上 ・難関大・医学部進学者／40人以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・県立高校であることもあって、私立大学への進学実績を重視しない傾向がありますが、早稲田・慶応・上智などの有名私大への進学実績は、週刊誌などでも高校名が紹介され、インパクトが強いと思えます。個人的には、センター試験の受験者を90%以上にすることが絶対だとは思いませんし、生徒によっては早い段階から有名私大に絞るような方向性をもっても良いと思えます。 ・私立大学への進学希望等多様化の傾向も見られるのではないかと。
ウ ◎生徒の自己肯定感の高揚、希望ある未来像形成への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく充実した生活を送っている／90%以上※ ・生徒情報を共有するシステムの充実 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・休みがちな生徒や、成績不振の生徒が、悩みを抱える機会が多いと思うので、そんな生徒たちに寄り添っていただければと思います。 ・先生が気にかけている、ということを感じると生徒はうれしいので、個別対応を継続的に進めて頂きたいです。 ・発達障害理解と支援に向けて、アカデミックチャレンジプログラム等を実施されている。 ・生徒それぞれに対して画一的ではなく、きめ細かな対応ができており、学校の努力は評価できる。
エ ◎学校情報の効果的発信、信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の参加率／70%以上 ・地区会の参加率／80%以上 ・保護者アンケート結果／4段階評価の全体平均3.50以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会の参加率は多いのですが、父兄との意見交換があまり無いように感じます。一方的な話ではなく、相互に意見を交換できる機会が増えると良いと思えます。 ・関心の高さが感じられる。 ・高い期待に応えられるようPTAとしても、より良い知識も必要と思う。
キ ◎課題研究の充実と最先端の科学研究に学ぶ機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究達成度／5段階で4以上 ・研修満足度／5段階で4以上 ・実習満足度／5段階で4以上 ・科学講演会満足度／5段階で4以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツだけでなく、数学や科学、英語などの全国大会への参加は、高校生活の中で楽しい思い出になるとともに、生徒間の一体化や学力向上にも繋がるので、とても良いことだと思います。 ・その他、囲碁や将棋、競技かるたなど、文化的な全国大会への参加などがあると学校生活が充実すると思います。 ・科学の甲子園全国大会出場、化学グランプリ全国大会出場等、積極的に取り組んでいる。
ク ◎生徒の学びを深める教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員による授業公開 ・学習評価の研究と実践事例作成 ・研修報告や進路情報資料の配布／常時 ・学習履歴DBの構築 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の情報共有などは、クラウド型のグループウェアを使うと簡単だと思いますが、大手の一般企業ですと良く使われる手法ですが、県立高校で可能なかどうか分かりません。継続的に費用がかかるので無理かもしれません。 ・良かったこと、成功したことだけでなく、むしろいけなかったこと、失敗したことを情報として共有することが大切だと思います。 ・学校生活に関するアンケート「学校生活全体で困っていること」の項目について、授業と進路を選択している結果も見られる。